

温暖化防止ながれやま便り

NPO 温暖化防止ながれやま
代表 石垣 幸子
流山市江戸川台西 2-152
編集 春田 育男

第36号 2020年6月

令和2年度 Web総会を開催しました。



代表 石垣幸子

この春、新型コロナウイルスによるパンデミックが起きました。日本でも感染が拡大し、政府の緊急事態宣言が出され、人々は家庭での自粛生活を送ることとなりました。今年度のOBNの総会は国や市の集会等自粛要請のため、Webによる採決となりました。5月25日、ようやくこの緊急事態宣言は解除され、日常生活が徐々に再開されてきました。

この間、人やモノの動きが地球規模で抑えられたため、温暖化効果ガス(CO₂)が大きく減りました。5月19日の英国「科学誌」には、今年4月調査、2019年の平均値より17%減少と掲載されています。エネルギー需要の落ち込みによるものであるが、景気回復と共に反動が強くなると心配する声もあります。

日本列島では、一昨年は西日本豪雨、昨年は台風19号による日本の各地に大きな災害が襲いました。気候変動で激しい雨が増えるとみられ、背景には地球温暖化があります。地球温暖化はどこか遠くで起きている問題ではなく、私たちの身近な暮らしが奪われるという問題です。

今年度開催予定の第26回国連気候変動枠組み条約締結国会議(COP26)がコロナの影響で延期となってしまいました。いまや、温暖化は地球規模の気候危機となっているのです。新型コロナ終息後の経済活動など私たちの日常生活が戻るときは、環境に配慮した生活を考えるべきであると思います。

令和2年度の活動方針決定

令和2年度温暖化防止ながれやまの総会は令和2年5月4日～10日、会員のWebによる審議が行われ、1号議案から4号議案まで可決されました。

令和2年度

温暖化防止ながれやま



Web審議；

令和2年5月4日(月)～10日(日)

総会資料

1号議案：平成31年度活動報告

2号議案：平成31年度収支計算書

監査報告書、備品リスト

3号議案：令和2年度活動方針

4号議案：令和2年度予算

<参考添付>

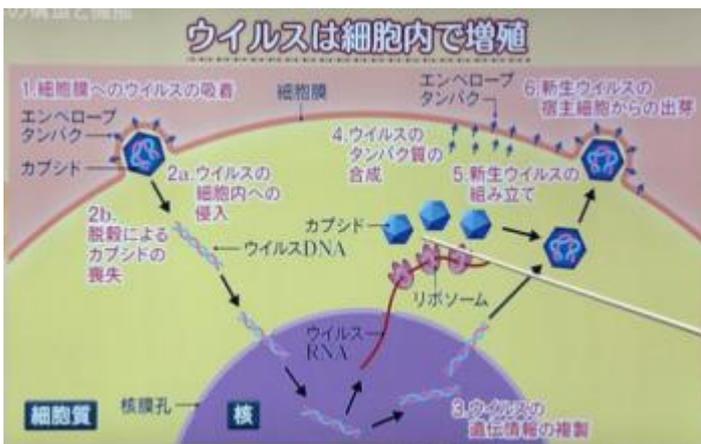
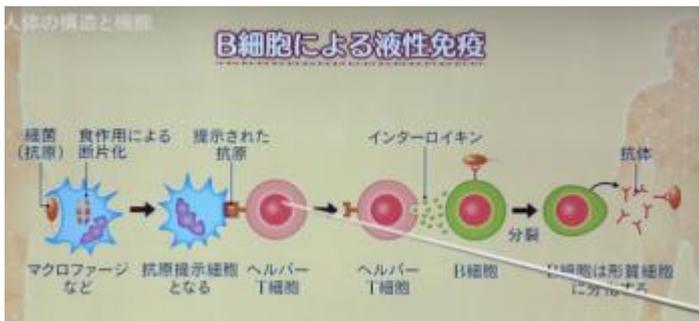
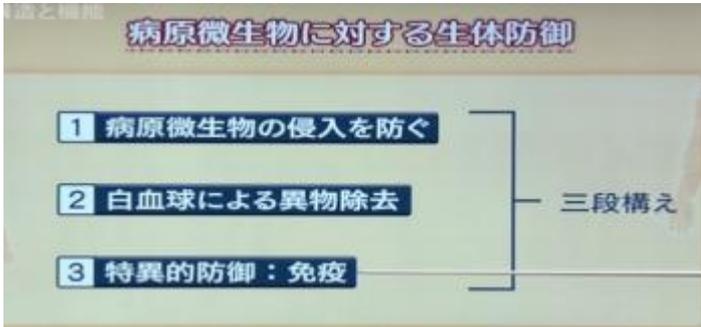
- ・会則、内規、業務規程、会計規則
- ・会員名簿

体内環境の防御機能・免疫反応について（放送大学教材ほか）

令和2年4月3日（金）13：30 から流山市生涯学習センターにおいて第 153 回「省エネ学習会」が開催されました。第 151 回（2 月）「グローバルな大気循環」、第 152 回（3 月）「生活空間の熱環境」と環境について学習してきました。今回は「体内環境」について放送大学の教材を使っでの学習会でした。奇しくも新型コロナウイルス感染の話題と重なり、改めて人体の免疫反応・感染症について学びました。

1. 生体の防御機構

（岡田隆夫：順天堂大学特任教授）

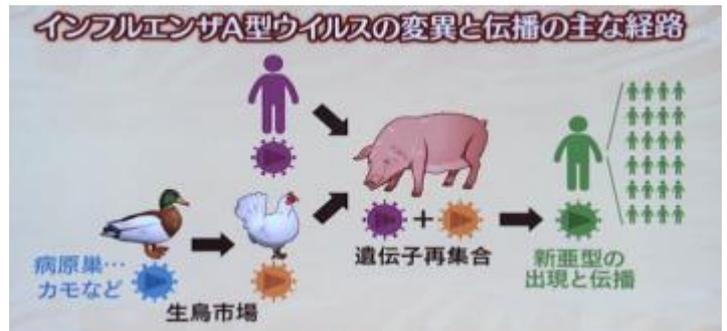
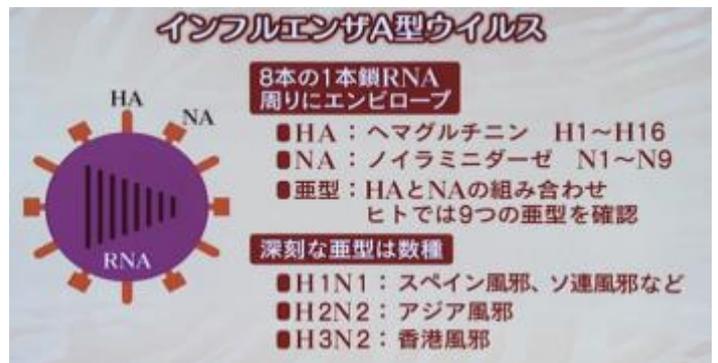


2. 人獣共通感染症

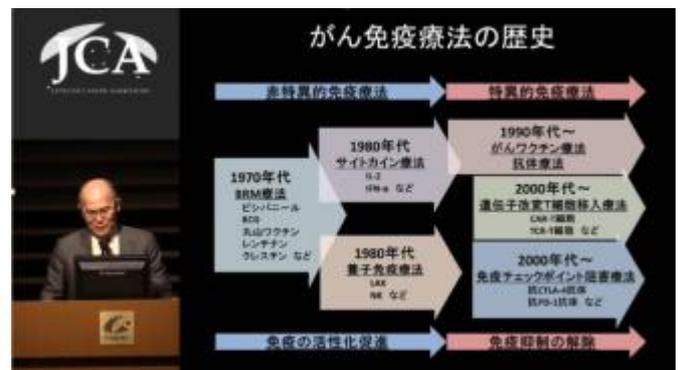
（東 正剛：北海道大学名誉教授）

近年に出現した新型感染症(一部)

1977年	エボラ出血熱	ウイルス	アフリカ
1983年	エイズ	HIV	アフリカ
1991年	ベネズエラ出血熱	アレナウイルス	ベネズエラ
1994年	ブラジル出血熱	サビアウイルス	ブラジル
1999年	ニパウイルス感染症	ニパウイルス	マレーシア
2003年	SARS	コロナウイルス	香港・中国
2004年	新型インフルエンザ	ウイルス	タイ・ベトナム



3. 免疫療法とは（玉田耕治：山口大学教授）



6 月度「省エネ学習会」

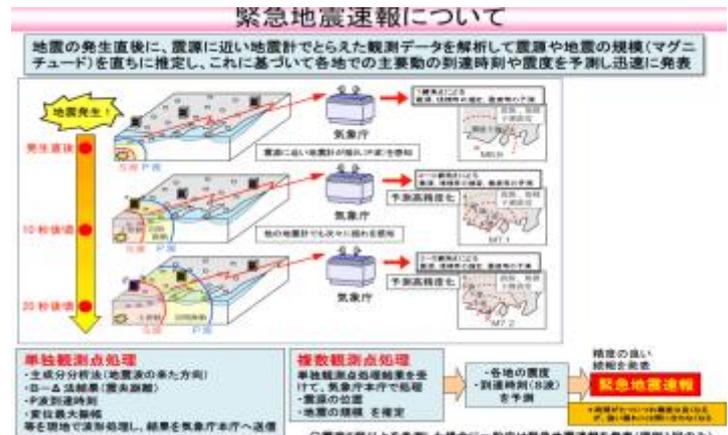
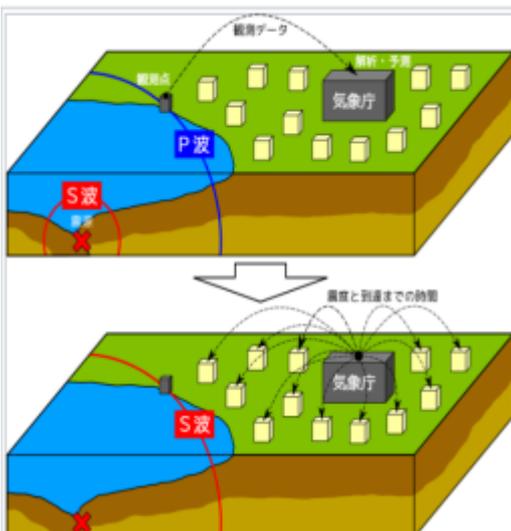
緊急地震速報と長周期地震動のお話（吉永泰祐：気象予報士）



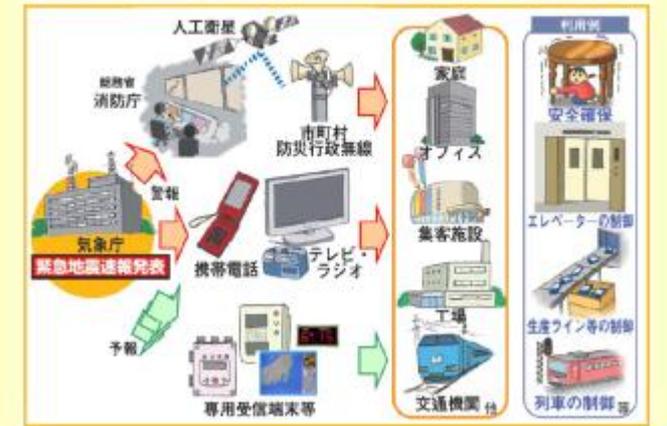
令和 2 年 6 月 5 日（金）13：30 から流山市生涯学習センターにおいて第 155 回「省エネ学習会」が開催されました。6 月度は「地震」をテーマに取り上げ、災害の仕組みと災害に備える方法を、参加の皆様と一緒に学習しました。

<緊急地震速報への道のり>

- 大きな揺れが来る前に知らせてほしい
- 新幹線を運用していた国鉄の願い
- 東海地震の揺れが来る前に東海道新幹線に非常ブレーキをかけたい
- 1965年 東海道新幹線開業の翌年、変電所からの送電を止めるシステム運用開始
- 1983年「ユレダス」のプロトタイプ
- 1989年 東海道で稼働開始
- 1995年 神戸の地震で高架橋落下
- 各機関は大きな衝撃を受けた
- 阪神淡路大震災（1995）をきっかけに地震警報システムへの関心が高まる。
- 高性能な地震計を設置する必要がある。
- 高速・大容量の通信が必要
- 様々な機関が同様の研究・運用をしていた。
- 文部省、気象庁、防災科研、鉄道総研の研究を統合して2004年緊急地震速報の試験運用開始（九州東岸から関東まで）



緊急地震速報の入手手段と利用のイメージ



第1回市民環境講座（お知らせ）

ミニソーラーカーを作って走らせよう！

2020年8月2日(日) 13:00～15:00

場所：流山市生涯学習センター



親子でミニソーラーカーを作って走らせることで、太陽のエネルギーを実感する。楽しくエコを学ぶ地球温暖化対策の講座です。（主催者:流山市環境政策課）

1. 受講対象者：

流山市内の小学3年生～小学6年生。
（保護者同伴を原則とします）

2. 当日の持ち物：

1個*500ml 角型ペットボトル

1丁*ハサミ

1本*ニッパー又は爪切り

1式*筆記用具

3. 電話での問合せ（平日、8:30～17:00）：

流山市役所 環境政策課
04-7150-6083（担当：せきね、いいだ）

申込みは下記QRコードから



4. 昨年（2019-6-2）の様子は下記でご覧いただけます。（昨年は、セントラルパークフェスタ会場で実施しました。今年はフェスタが中止となりましたので単独開催です）

流山市HP「くるっと流山」

<https://www.city.nagareyama.chiba.jp/1000009/1010866/1021760/1022232/1021909.html>

動画

<https://www.youtube.com/watch?v=Ard8yDmJakg&feature=youtu.be>

*作ったソーラーカーは、持帰って夏休みの自由研究などに利用できます。（無料）

編集後記

桜、さくらは日本の春を代表する花である。今年も少し早めの満開であったが、日本の春を彩りながら、日本列島を北上していった。今年の春は、コロナの自粛要請で、満開の桜を満喫できなかったが。

気象庁の想定温暖化シナリオは、いつか日本に桜の咲かない春を迎えるかもしれないと警告している。桜の開花には冬の寒さにさらされることによって花芽が目覚めるのだという。花芽はその後、春先の気温上昇と共に育って開花するという。

今、低温にさらされなくても咲く桜の品種の開発が進んでいるという。

かけがえのない日本の四季はどうなる？

（石垣 幸子）